

令和4年8月3日からの豪雨災害における 「村上市の各種対応と課題について」

R4.8.3からの大雨による災害

(写真:2022.8.5小岩内上空からの被災状況)



新潟県村上市総務課 危機管理室

新潟県村上市の紹介

◇新潟県村上市の位置・地勢

・平成20年4月1日に旧5市町村が合併

面積 1,174.17Km²

人口 54,977人(R5.11.1現在) 世帯数 22,274世帯

新潟県の北端に位置し、新潟県の総面積のおよそ9.3%を占めており、**海岸線は約50キロメートル**に及び、海・山・川、自然豊かで美味しい食に恵まれています。

古い城下町でもある村上は、現存する町屋が点在しており、風情を感じる小路を歩けば、タイムスリップしたような感覚に。

「鮭のまち」と呼ばれるほど鮭を愛する町で、海沿いには瀬波温泉や名勝笹川流れがあります。



笹川流れ



鮭漁



村上茶



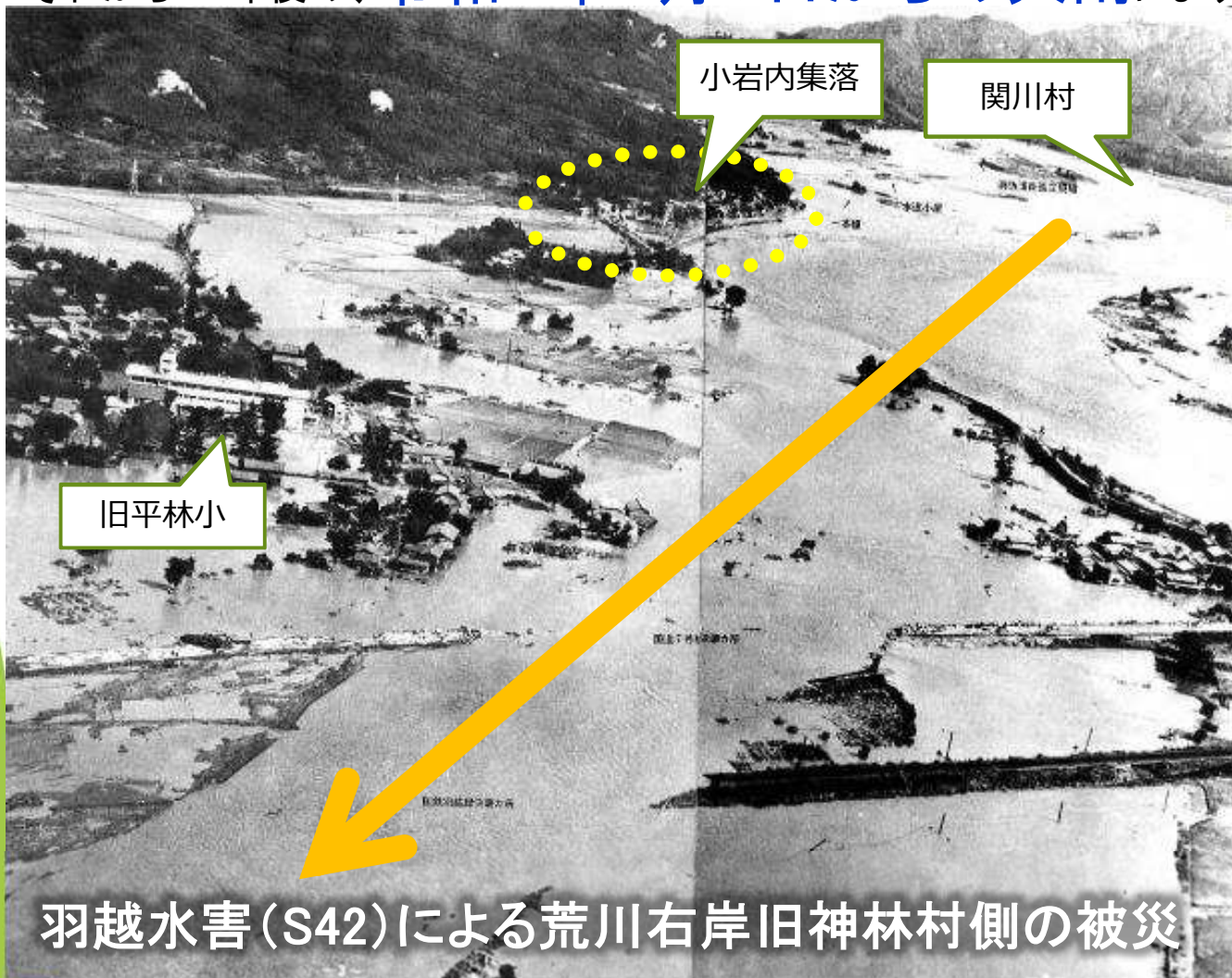
キャラクターの愛称「サケリン」
名産の「鮭とお酒」、「人情(なさけ)」の「サケ」から愛称的に命名しました。

はじめに

令和4年8月豪雨 55年前の羽越水害が再び

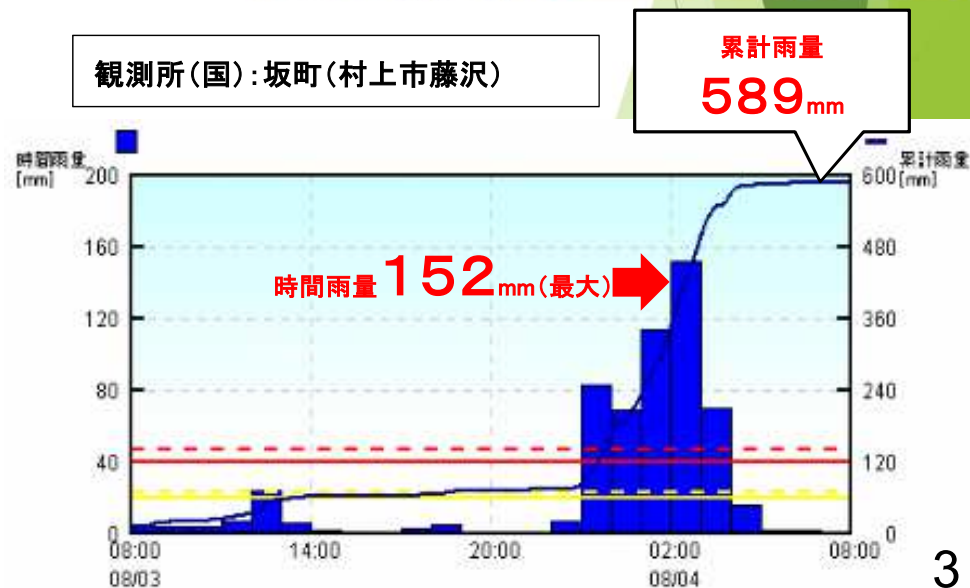
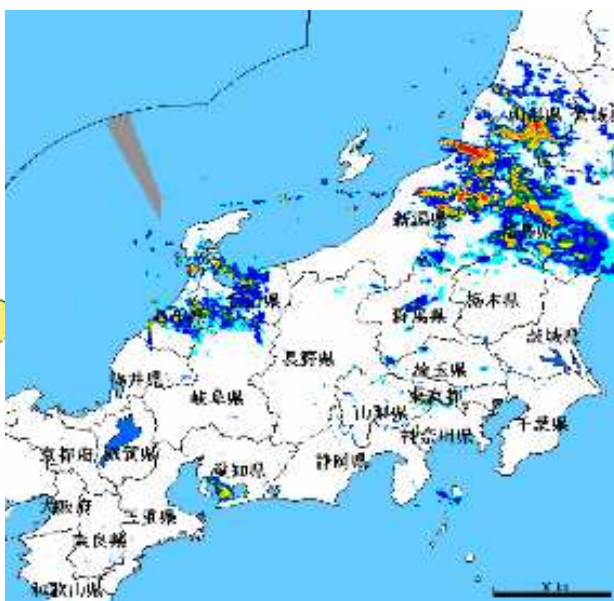
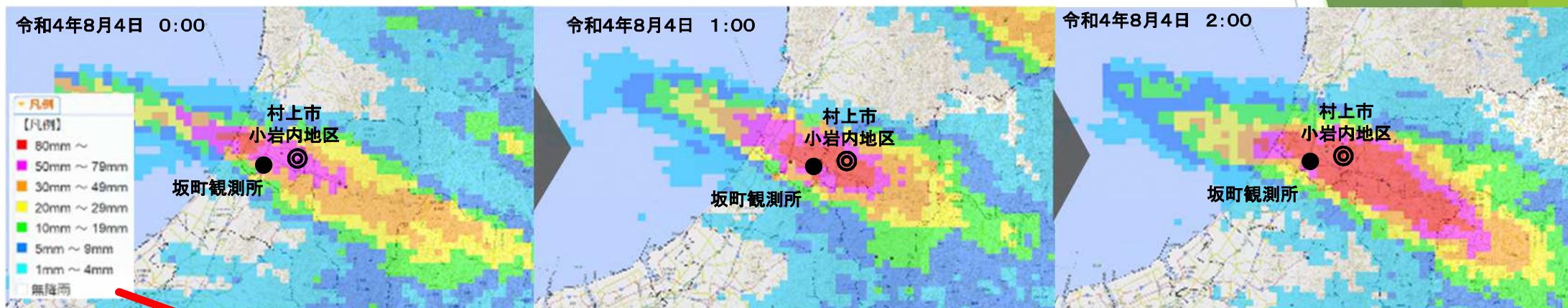
(羽越水害)昭和42年8月28日から翌29日にかけて、記録的な集中豪雨が襲い、荒川流域の各所で堤防の決壊、土石流、がけ崩れ等を引き起こし、日本の災害史上に残る大惨事**羽越水害**となった。

それから55年後の、**令和4年8月3日からの大雨**により、再び、甚大な災害が発生した。



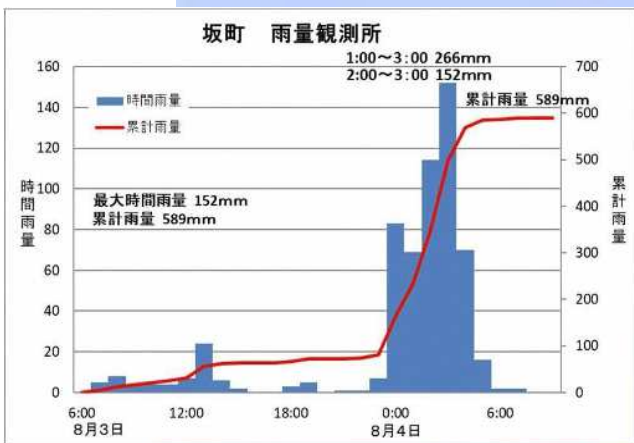
1-1 気象の状況 (令和4年8月3～4日の降雨状況)

- ・令和4年8月3日に日本海から東北地方に延びていた前線は、4日にかけて北陸地方へゆっくりと南下
- ・**線状降水帯**が発生し、荒川～神林地域に3時間余り停滞し、坂町観測所では**時間雨量152mm(最大)**、**総雨量589mm**を観測
- ・豪雨により市内全域で被災が確認。特に1級河川荒川沿いの市街地や集落では土石流や浸水による甚大な被害が発生



1-2 気象の状況（令和4年8月3～4日の降雨状況）

8月4日 3時00分時点の累積雨量およびレーダー雨量



県内(気象庁)時間最大 歴代1位
全国(気象庁)時間最大 歴代6位

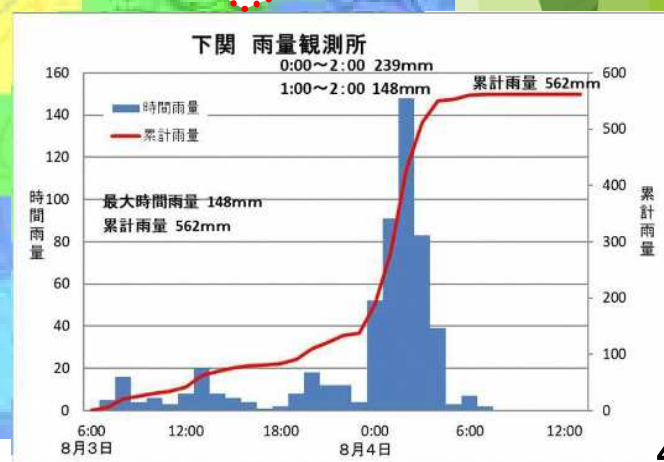
時間雨量、3時間雨量、24時間雨量等が昭和51年統計開始以降、歴代1位を記録

累計雨量

観測所	所在地	所管名	時間	累計雨量 (mm)
坂町	藤沢	国土交通省	8/3 7:00～8/4 7:00	589
下関	関川村下関	気象庁	8/3 7:00～8/4 7:00	562

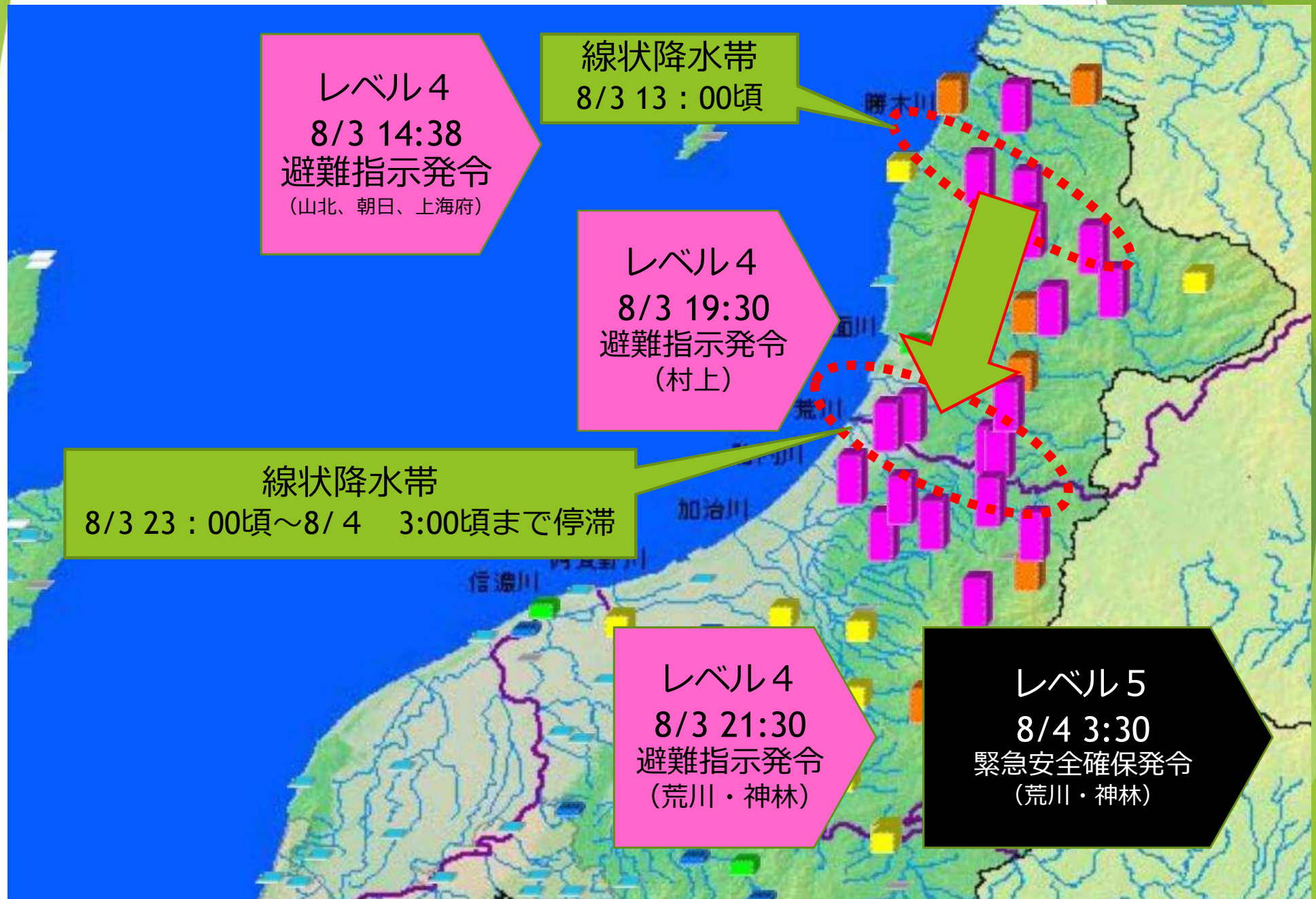
時間最大雨量

観測所	所在地	所管名	時間	時間最大 (mm)
坂町	藤沢	国土交通省	8/4 2:00～3:00	152
下関	関川村下関	気象庁	8/4 1:00～2:00	148



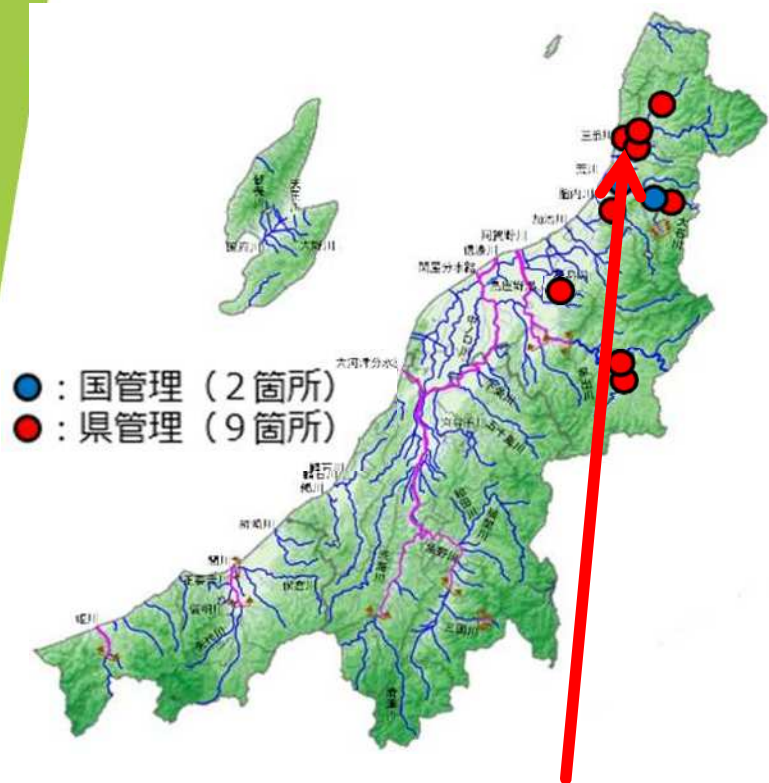
1-3 気象と避難情報の発令の状況 (令和4年8月3～4日の降雨状況)

●令和4年8月3日から4日にかけての累積雨量グラフ

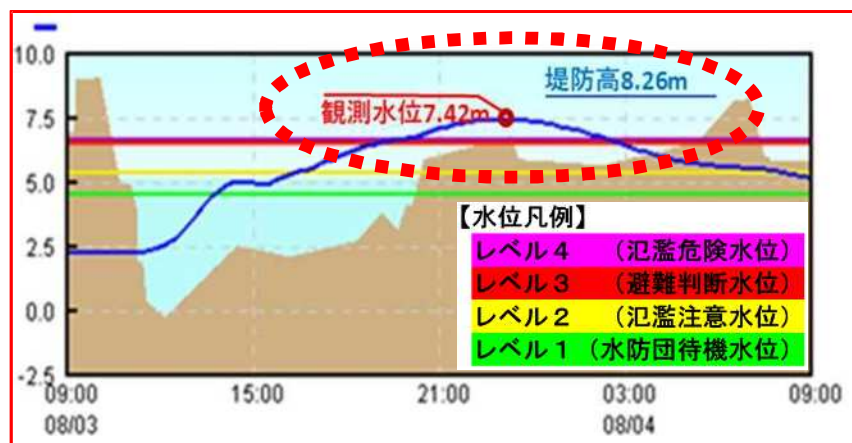


1-4 河川の状況

● 県内河川のレベル2以上の出水河川



二級河川三面川(泉町観測所)水位データ



● 河川水位観測状況(主な観測点)

河川名	観測所名	最高レベル
二級河川高根川	早稲田 (村上市)	レベル4 (氾濫危険水位) 8/3 19:10~8/3 23:00
二級河川三面川	泉町 (村上市)	レベル4 (氾濫危険水位) 8/3 20:00~8/4 2:30
二級河川三面川	宮ノ下 (村上市)	レベル3 (避難判断水位) 8/3 23:00~8/4 0:30
一級河川荒川 (国交省管理区間)	葛籠山 (村上市)	レベル3 (避難判断水位) 8/4 1:50~8/4 4:20
一級河川荒川	鷹ノ巣 (関川村)	レベル4 (氾濫危険水位) 8/3 21:40~8/3 23:40
二級河川胎内川	下館 (胎内市)	レベル3 (避難判断水位) 8/3 22:00~8/3 22:50



二級河川三面川水系高根川(村上市黒田)
堤防 破堤箇所

1-5 気象と避難情報の発令の状況 (時系列 その①)

赤:気象情報 青:避難情報

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/3 (水) 11:06	大雨警報 (土砂災害、浸水被害)	
11:33	土砂災害警戒情報発表	11:33 災害対策本部設置
12:00	高根川 (早稲田) 水防警報レベル1 (水防団待機水位)	
12:03	記録的短時間大雨情報	
12:24	高根川 (早稲田) 水防警報レベル2 (氾濫注意水位)	
12:30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 線状降水帯 8/3 13:00頃 山北～村上 </div>	朝日支所から村上市文化会館を避難所として14時開設に向けて準備中
12:50		村上地区大龍寺川氾濫警戒のため車両通行止め (市道堤防線) →13:50解除
12:58	上海府地区1000戸で停電→13:22復旧	村上地区 (上海府小学校)、朝日地区 (村上市文化会館、朝日さくら小学校)、山北地区 (山北ゆり花会館、さんぽく会館) の5か所に14時開設予定
13:00	停電発生 (大月、柏尾、野潟、早川、馬下、間島、吉浦、浜新保)	
13:15	小揚・新屋間の市道土砂崩れのため通行止め	
13:35	停電復旧 (大月、柏尾、野潟、間島、吉浦)	
13:54	高根川 (早稲田) 水防警報レベル2 (氾濫注意水位) →レベル1 (水防団待機水位)	13:55 第1回災害対策本部会議

1-5 気象と避難情報の発令の状況 (時系列 その②)

赤: 気象情報 青: 避難情報

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/3 (水) 14:19	県道薦川中原線全面通行止め (朝日中野地内)	
14:38		避難指示発令 (山北、朝日、上海府) 避難所5か所 (旧上海府小学校、村上市文化会館、朝日さくら小学校、山北ゆり花会館、さんぽく会館) 防災無線・メール等で広報
15:00	国道345号 馬下～桑川間の国道345号が道路冠水しており通行止め	
16:10		自主避難所開設 (荒川、神林) (荒川 地区公民館、 神林 農村環境改善センター)
16:18	床下浸水 (山北地域 大毎: 農家レストラン)	
16:50	市道十川1428号線、冠水のため通行止 寒川浄水場が浸水、給水停止 (断水)	
16:58	高根川 (早稲田レベル3 避難判断水位到達)	
17:00	荒川放流量1,500t (県農林振興部) 県道村上朝日線 通行止め (羽下ヶ淵1.0km)	
17:30	山北地域 大谷川の越水により大谷沢の2名が避難所へ行きたいがいけないので消防水難救助隊に要請	
17:45	市道堤防線 (大竜寺川) 通行止め	
18:00	国道7号通行止め (大須戸～府屋) 累積雨量超過	


1-5 気象と避難情報の発令の状況

(時系列 その③)

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/3 (水) 19:15	新潟県から三面ダム 緊急放流予告 20:30開始予定の事前通告 19:30報道発表予定	
19:30		避難指示発令 (村上) <u>(村上小、村上南小、中等教育学校、山辺里小)</u> ※緊急放流をあわせて周知
19:38	山北地域 桑川簡易水道 濁水発生により断水	
19:40 19:45 20:15	国道7号 大須戸除雪ST手前渋滞中 (850m) 県道 関口早稲田線0.9km通行止 市道荒沢北大平線0.1km通行止	
20:22		市長から 自衛隊へ応援要請
20:40		大谷沢の3名を救出・避難所 (総合体育館) に輸送。塔下の救助に向かう
21:30		避難指示発令 荒川、神林地域 (荒川地区公民館、荒川中、旧砂山小、神林中)
22:05	三面ダム緊急放流開始 ※新潟県報道発表	
22:16	停電発生 朝日地域 (荒沢、大須戸、小須戸、猿沢、塩野町、関口、十川、蒲萄、松岡、早稲田、約1070戸)	
22:20 23:00		塔下3名救助 避難所に 最高人員 1,097名の避難者

1-5 気象と避難情報の発令の状況 (時系列 その④)

赤: 気象情報 青: 避難情報

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/3 (水) 23:23 23:26		新潟県村上地域振興局 リエゾン (1名) 到着 自衛隊 リエゾン (2名) 到着
23:55		新潟県村上地域整備部より 県道高根村上線の土砂撤去作業 4日の午前4時より再開、1時間程度で開通予定
8/4 (木) 00:15		新潟県警リエゾン (2名) 到着
00:55	市道平林小岩内線 (川部地内) 全面通行止	
01:47		<u>避難指示発令 (荒川) 貝附、花立、梨木)</u>
01:56		<u>避難指示発令 (神林) 松沢、山田、岩野沢)</u>
01:56	特別警報 (大雨) 発表	
03:20	国道113号十文字交差点 通行止	
03:30		<u>緊急安全確保発令 (荒川地域、神林地域)</u>
03:40	堀川 (長松地内) の越水により田んぼ浸水	
03:50	三面ダム緊急放流終了 ※新潟県報道発表	
05:00	R290桃川地内L=10全面通行止	
06:30		自衛隊 災害派遣要請受理 (30人)

線状降水帯
8/3 23:00頃~8/4 3:00頃まで停滞
神林→荒川

1-5 気象と避難情報の発令の状況

(時系列 その⑤)

赤:気象情報 青:避難情報

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/4 (木) 07:30		災害救助法の適用 ※内閣府 報道発表 新潟県災害救助法の適用 ※新潟県報道発表
08:50		第2回 災害対策本部会議
09:12		自衛隊救助活動開始
09:30	特別警報 (大雨) 解除 国道7号大須戸 - 府屋 片側交互通行可	
09:35		避難指示解除 (村上地域 (村上小、村上南小、村上中等、山辺里小を閉鎖))
09:45	国道7号大須戸 - 府屋 通行止解除	
12:30	国道113号十文字交差点 通行止	荒川地区公民館、荒川中学校の避難所を平林小学校に統合
12:43	県道村上朝日線 (羽下ヶ淵) 通行止解除	15:00
12:44	県道高根村上線 (関口地内) 通行止解除	平林小学校48人、神林中学校3人 計51人
13:30	荒川、はん濫注意情報解除	
13:40	高根村上線 (関口地内) 通行規制 解除	さんぽく会館、山北ゆり花会館、村上市総合文化会館、旧上海府小学校は避難所を開設しているが避難者0人
15:00	国道7号 (十文字~牧ノ目) 解除 国道345号 (馬下~勝木) 解除 ※一部片側交互 山熊田府屋停車場線 解除	16:00 第3回災害対策本部会議

1-5 気象と避難情報の発令の状況

(時系列 その⑥)

赤:気象情報 青:避難情報

日時	気象・被害状況	市の対応・避難情報等
8/5 (金) 04:15 06:28	<u>土砂災害警戒情報 解除</u> <u>大雨警報 解除 →大雨注意報へ</u>	
10:53		<u>避難指示一部解除</u> <u>神林地域 小岩内、川部以外</u> <u>避難所を閉鎖</u> <u>荒川地域 荒川地区公民館</u> <u>神林地域 神林中学校以外</u>
16:22		総合相談窓口設置 (荒川支所ホール、神林保険センター)
16:44		災害ごみ仮置き場設置 8/6~8/31 午前9時~午後4時 グリーンパークあらかわ 駐車場
8/6 (土) 12:00		<u>避難指示発令</u> <u>荒川地域 花立の一部、貝附の一部)</u> <u>土砂災害の危険性</u>

令和4年8月3日からの大雨による被災状況



村上市(坂町周辺)



村上市(下鍛冶屋)



関川村(高田)



関川村(鷹の巣)



村上市(小岩内)



JR米坂線 関川村(大島)



関川村(湯沢)



村上市(小岩内)



排水作業 関川村(高田)



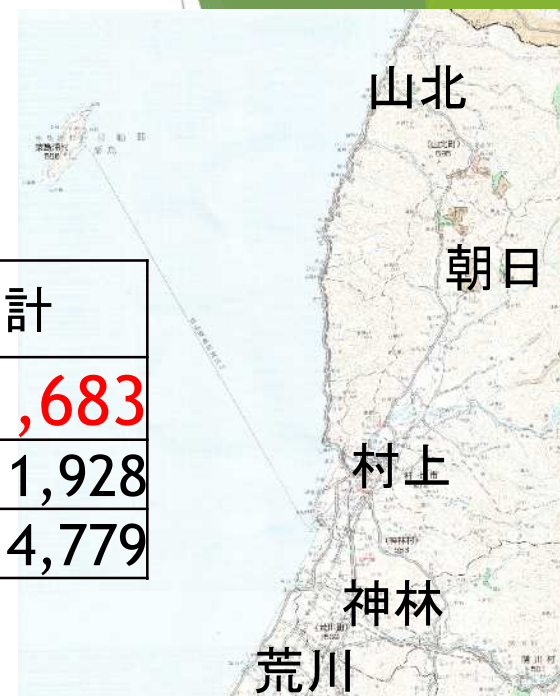
村上市災害廃棄物仮置き場

2-1 被災の状況 (人的・住家)

- 1. 人的被害 **重傷者1名** (小岩内80代男性 土砂災害により右足負傷)
- 2. 住宅被害

(住宅被害状況)

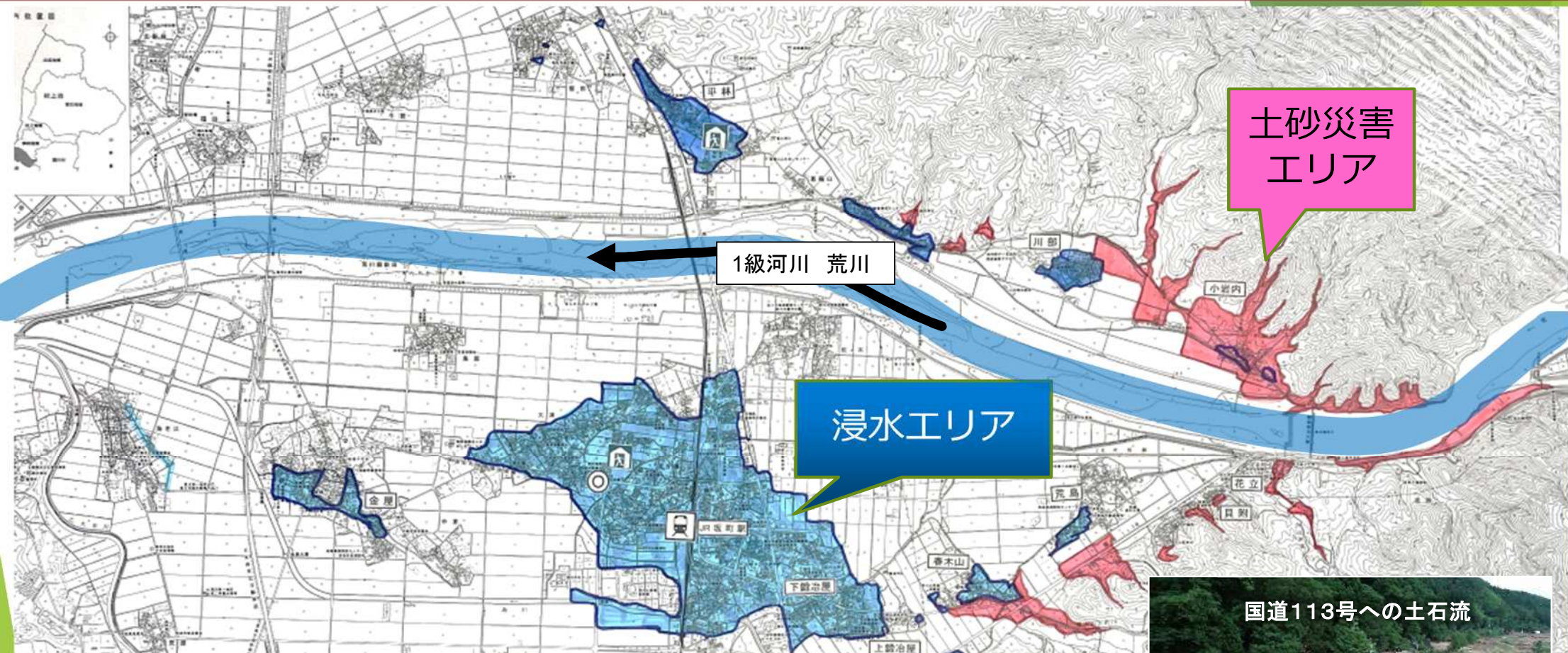
	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	計
棟数	6	13	5	679	980	1,683
世帯	6	13	5	744	1,160	1,928
人	14	32	12	1,845	2,876	4,779



※参考 (建物被害調査結果)

地域	調査戸数	被害の程度 (判定結果)						
		全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない	無被害
荒川	1,866		11	104	404	51	770	526
神林	399	6	3		41		200	149
朝日	60			1	9		41	9
山北	35				3		24	8
計	2,360	6	14	105	457	51	1,035	692

2-2 被災の状況（浸水、土石流、土砂崩れ）



国道113号への土石流



村上市山口地内の浸水



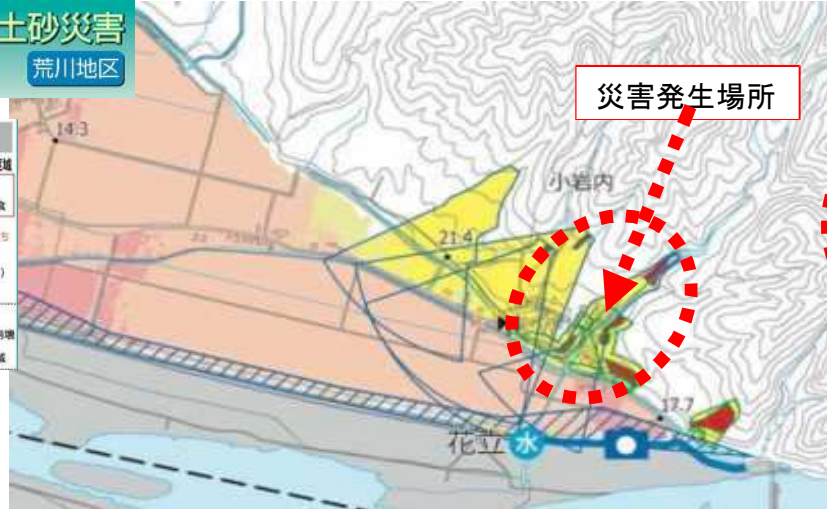
住宅への浸水



2-3 被災の状況 (小岩内地内 土石流)

建物被害 全壊6 大規模半壊3 半壊3
 (小岩内集落 36世帯)

村上市洪水・土砂災害
 ハザードマップ 荒川地区



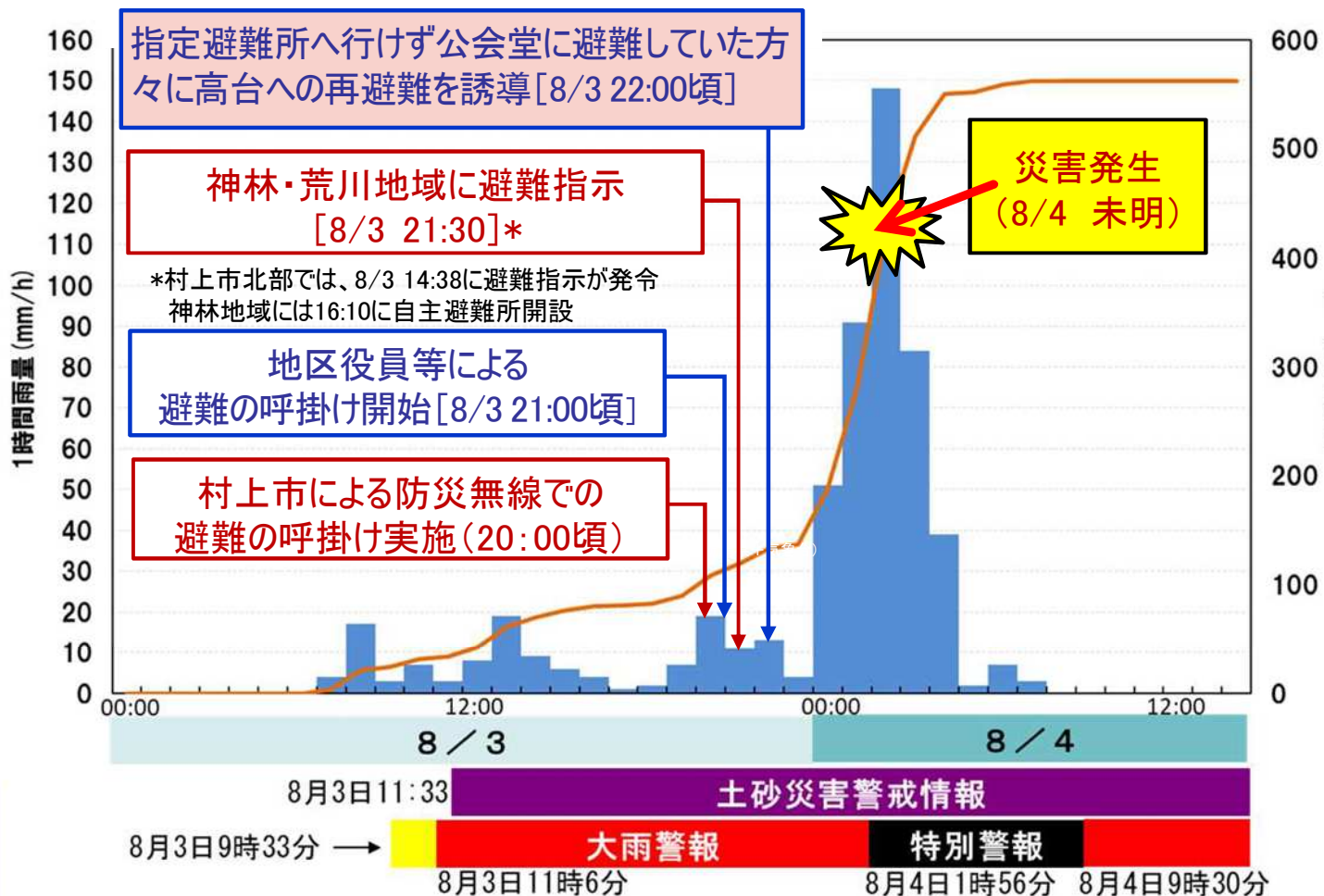
凡例	
浸水深	家屋倒壊等危険想定区域
5.0m~10.0m未満	危険な浸水
3.0m~5.0m未満	沿岸浸食
0.5m~3.0m未満	上記の区域は、早期の立ち退きが必要である。
0.5m未満	
過去の浸水実績(平成16・17年)	重要水防箇所
土砂災害警戒区域	
土石流	急傾斜地の崩壊
地すべり	特別警戒区域



2-4 過去の水害を教訓に “小岩内^{こいわち}の奇跡”

- 8/3 22:00頃、土石流発生前に、集落で避難していた公民館から **集落役員、防災士、消防団が協力し合って、高台等へ避難誘導**
- 55年前の「羽越水害」で被災した経験と記憶による適切な避難行動 → **“小岩内の奇跡”**
- 小岩内地内土石流による犠牲者なし **死亡0名** 重症者1名（小岩内集落 36世帯 113人のうち）

【降水状況と避難状況（小岩内地区）】 下関観測所（気象庁）発災箇所 約7km東



【水害の伝承、訓練】

昭和42年8月28日の羽越水害を忘れないように村上市では毎年8月下旬頃に各地域も参画した「避難訓練」や「情報伝達訓練」を実施しているが、小岩内地区では同時期に**防災訓練を兼ねて収穫祭を行うことにより、“災害を忘れないようにする”ことに努めている。**

【区長コメント】

いち早く、避難していた公民館から高台に再避難できたのは、55年前の羽越水害の経験が大きい。
（公会堂は羽越水害でも被害に遭った場所で、当時の写真が飾られている）

2-5 被災の状況 (インフラ等)

3. インフラ等被害

(1) 市道 **138路線 187カ所**

(2) 河川・水路 **54路線 70カ所**

(3) 港湾・海岸

中浜漁港、府屋漁港、脇川漁港、桑川漁港、寝屋漁港、岩船港流木等漂着
海岸線50km流木等漂着(瀬波温泉海水浴場ほか)

(4) 農業関係

頭首工 40カ所・ため池12カ所・用水機場33カ所 用排水路354カ所

農道 140カ所 農地655カ所

・水稲 **冠水500ha、浸水1,500ha、土砂流入150ha**

・園芸作物 **浸冠水25.4ha**

・施設・機械 パイプハウス4棟、農業機械391台

(5) 林業関係 **90路線 328カ所**



国道7号の冠水



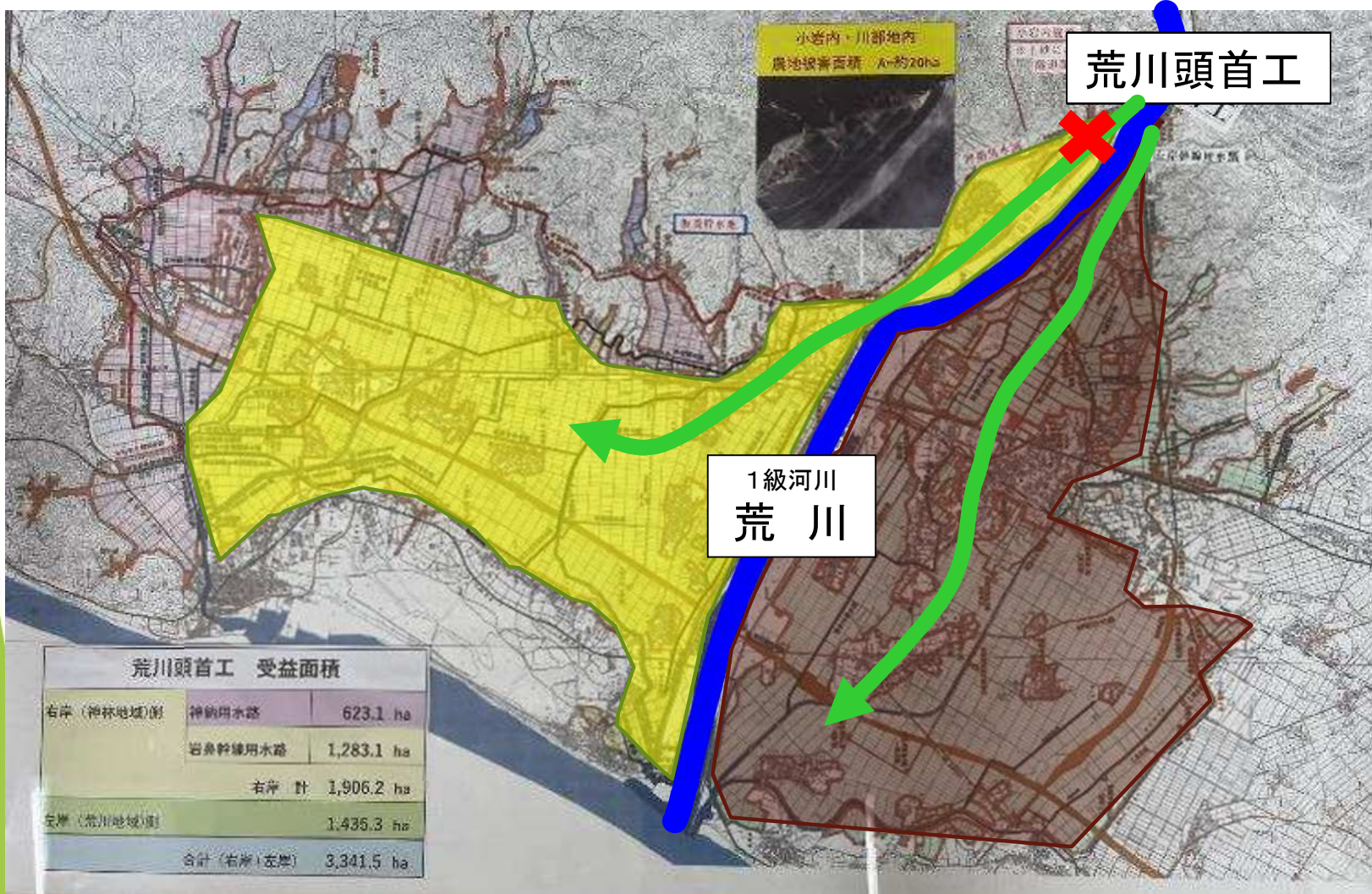
農地への土石流



市道への土石流

2-6 被災の状況 (農地・農業用施設)

- ・ 1級河川荒川から農業用水を取水する施設が大量の土砂で埋塞するなどし、24時間体制で土砂撤去を進め通水を確保
- ・ 市内全域で、水稻 冠水500ha 浸水1,500ha 土砂流入150ha 園芸作物 浸冠水25.4haが被災



2-7 被災の状況（断水状況）

給水区分	断水戸数	断水人口	断水発生	応急給水	生活用水開始	飲用水開始
寒川簡水	259	554	8/3	8/3	8/7	8/9
桑川簡水	171	330	8/3	8/4	8/7	8/9
高根簡水	193	538	8/4	8/4	8/14	8/24
神林上水	2,944	8,214	8/4	8/4	8/9	8/10
荒川上水	3,684	9,576	8/4	8/4	8/8	8/9
合計	7,251	19,212				

※断水発生、飲用水開始は、同じ給水区でも若干の差がある

R4.8.5撮影

荒川上水 φ350mm配水管の被災状況

・大雨により一級河川春木山大沢川が氾濫し、φ350mm配水管（水管橋）が損失した。



・春木山大沢川上流部の山腹が崩壊し、その土砂や流木が流れ込み8月4日2時から4日3時の間（監視システム）に配水管を損失させたと思われる。

・市街地が浸水し、国道7号（冠水）、国道113号（土砂崩落）で通行止めのため、発生直後は、現地確認できず。



3 関係機関や災害ボランティアなどの各種支援



4 災害ごみの受入・回収

(受入れ8/6~10/31 処分~12/8)



災害ごみ集積場所



災害ごみ収集



災害ごみ搬入の車列



災害ごみ仮置場



5-1 避難所（設置状況）



8/5 荒川地区公民館



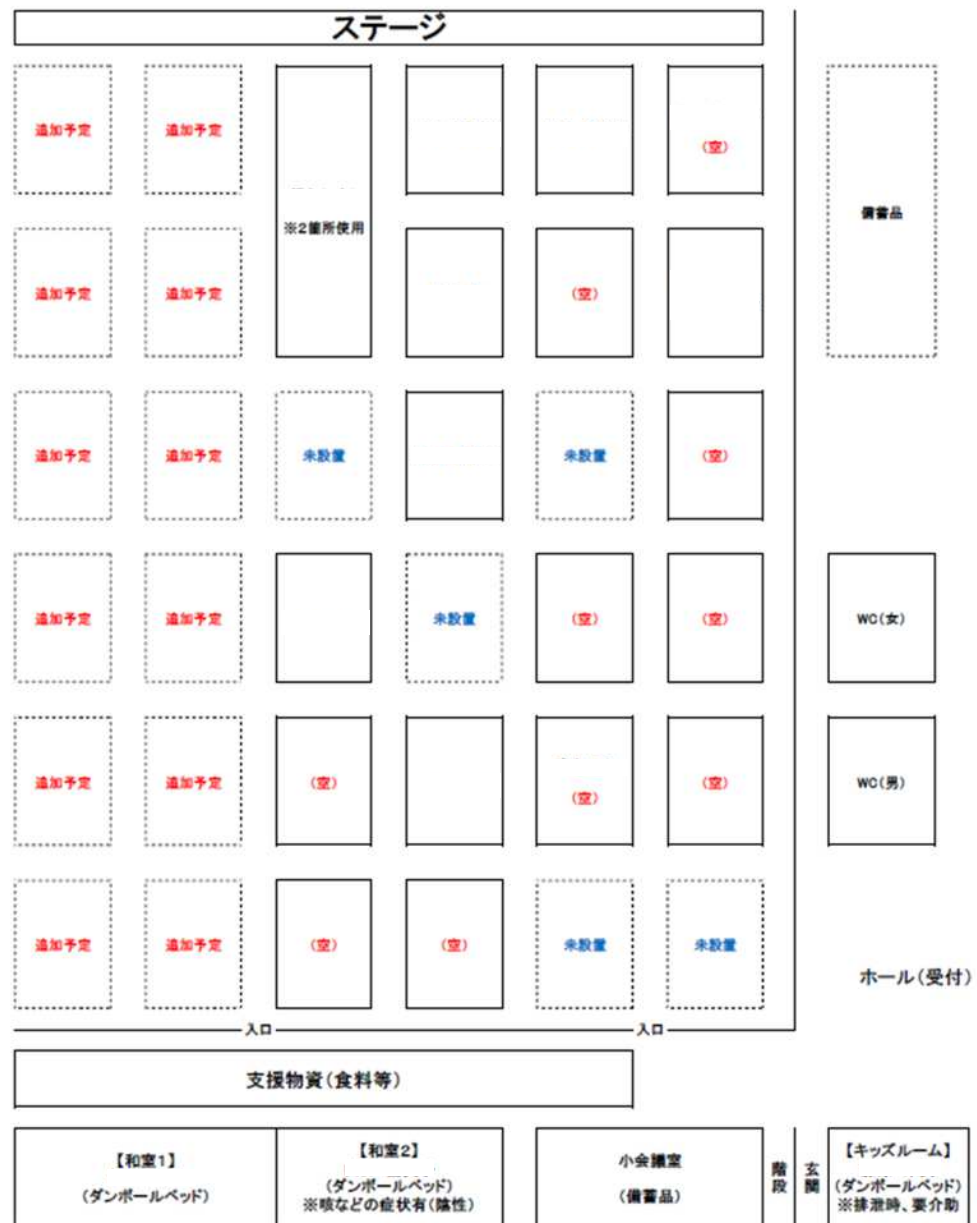
避難生活の長期化が見込まれたため、新潟県へパーティションの提供を依頼



8/15 荒川地区公民館

荒川地区公民館 避難所配置図(1F)

令和4年8月13日作成



5-2 避難所(課題)

- ▶ 初期段階（市内15か所の避難所を開設）
 - ▶ 避難者が一気に押し寄せパニック
 - ▶ 記入する避難者名簿の用紙が不足（1避難所で最高約280人の避難者）
 - ▶ 避難所物資の貯蔵場所が1か所のため、物資班による物資運搬に支障
 - ▶ 新型コロナウイルス感染症対策の対応困難
 - ▶ ペット避難世帯が10世帯
 - ▶ 車中泊避難者・避難所外避難者・無断で帰る人の把握
 - ▶ 避難所での情報把握、情報提供
- ▶ 長期化段階（最長8月3日～10月17日の78日間）
 - ▶ 避難所運営従事者の確保（他課・他市の応援）
 - ▶ 食事提供数の把握、メニュー内容
 - ▶ 施設の清掃等
 - ▶ 長期避難者の被災・復旧状況等の把握
 - ▶ 新型コロナ感染症対策（避難所で感染者。避難者全員に抗原検査実施）
 - ▶ アナログな管理体制（入退所等）

6 罹災証明書の発行・被災者支援相談窓口の設置



チームにいがた拠点(神林支所)



被害認定調査



罹災証明書発行

「チームにいがた」の派遣

被害認定調査支援（県・24市町村）

○派遣期間：8 / 10～8 / 23

	村上市	関川村
派遣人数	121人	27人
調査棟数 (うち、準半壊以上)	2,320棟 (628棟)	969棟 (174棟)

- 計22集落において全棟調査を実施（市：16、村：6）
- 県被災者生活再建支援システム（モバイルシステム）を活用し効率的に調査を推進。
- 調査棟数には、罹災証明書の申請が見込まれない非住家や無被害等の建物を含んでいる。

罹災証明書交付支援（24市町村）

○派遣期間：8 / 23～9 / 4（※関川村：～8/31）

	村上市	関川村
派遣人数	51人	30人
居住者向交付件数 (参考：準半壊以上棟数)	1,231件 (628棟)	292件 (174棟)

- 県被災者生活再建支援システムを用いて、居住実態を的確に捉えた罹災証明書を交付
- 準半壊以上の世帯には概ね交付が完了。

支援相談窓口

○罹災証明書集中交付期間に開設



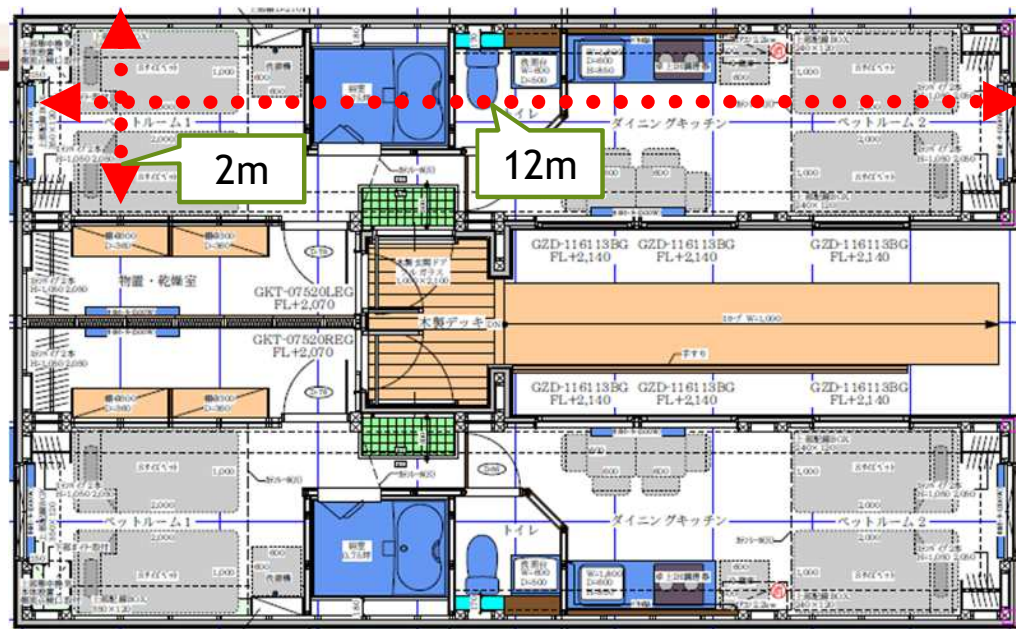
支援相談窓口



罹災証明書発行

7 建設型応急仮設住宅

建設型応急仮設住宅(33世帯)は、新潟県が設置。(10/1避難指示解除)
現在は3世帯が残っている。
(高気密 2m×12m 最大4人用)



8 物資等

新潟県をはじめ県内市町村、全国からの支援物資、災害対応のため市で購入した物資の受け入れ、配布の状況。(荒川・神林支所では物資の積み下ろしのためフォークリフトをレンタル)



村上市の復旧・復興タイムライン

発 災

令和4年8月3日からの
大雨による災害



緊急対応期

発災～6か月

生活再建や産業再開に不可欠な住宅や施設、インフラ等の応急復旧を目指す期間

復旧期

6か月～3年

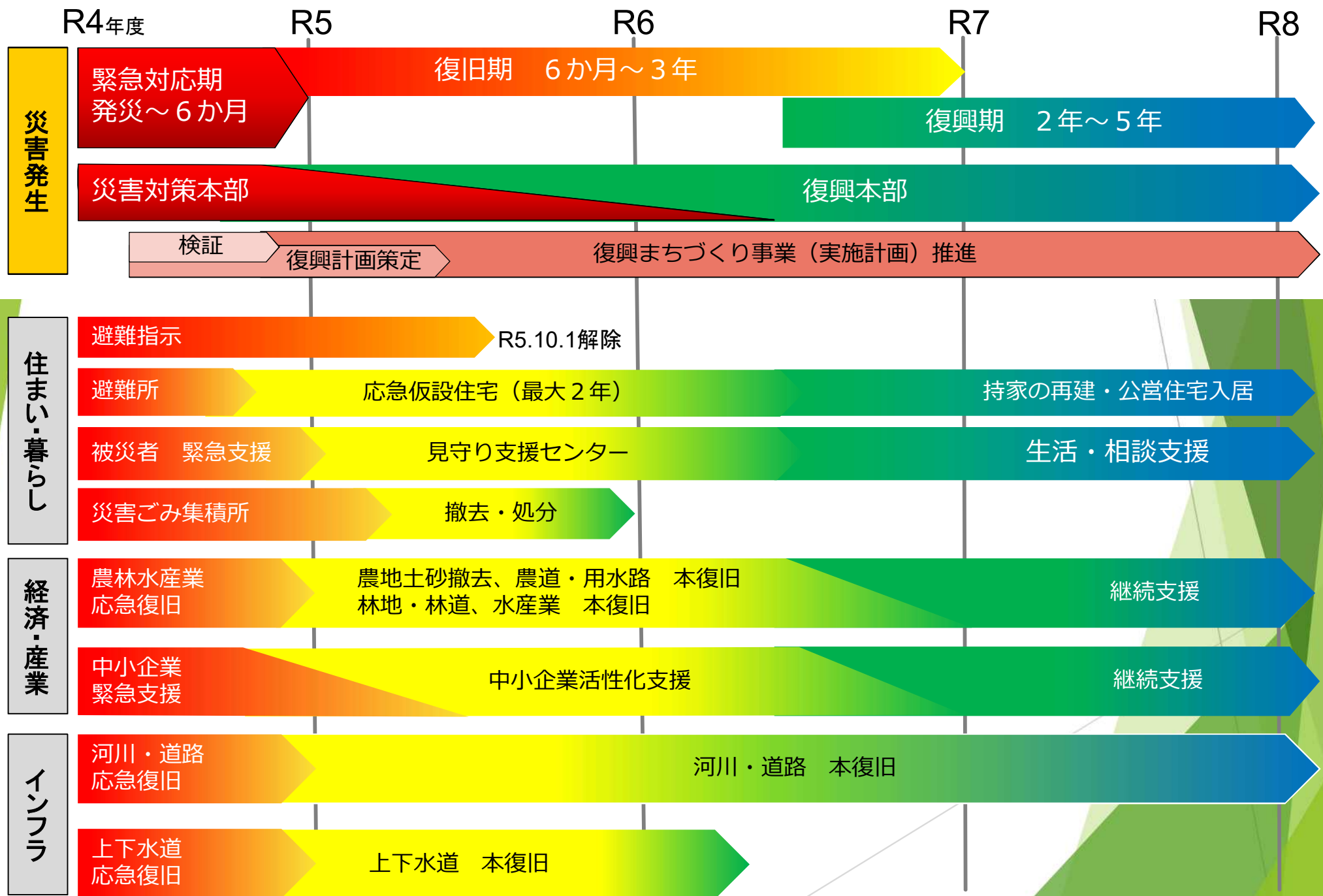
これまでの生活環境や、産業・インフラなどの様々な基盤の本復旧を目指す期間

復興期

2年～5年

各所の本復旧とともに、地域の活力を高め、安全で魅力ある地域を目指す期間

発災から復興までのタイムライン



荒川水系緊急治水対策プロジェクト(烏川・春木山大沢川)

令和4年度～令和8年度

～流域の関係者が連携し、土地利用を踏まえた流域治水対策を推進～

○荒川流域では、国・新潟県・市町村等が連携して「荒川水系流域治水プロジェクト」を進めているところであるが、令和4年8月の豪雨により、特に支川の烏川・春木山大沢川の溢水等により、甚大な被害が発生したことを踏まえて、以下の対策を実施する。

- ・県では、烏川・春木山大沢川において河道拡幅や二線堤・輪中堤整備等を実施し、河川の氾濫による家屋浸水被害を防止する。
- ・市では、雨水幹線整備を重点化・加速化して実施し、被害の軽減を図る。

○更に、田んぼダム取り組みの推進とともに、浸水リスクの高い地域では、流域治水関連法等を活用し、土地利用規制等を検討・実施する。

- 事業期間 令和4年度～令和8年度
- 事業費 約92億円【県:約92億円】
- 目標 令和4年8月出水と同規模の洪水に対し、浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川における対策

- ・災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】

○集水域における対策

- ・雨水幹線の整備・検討【村上市】
- ・田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】

■ 被害対象を減少させるための対策

○氾濫域における対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【国交省・新潟県】
- ・雨水排水計画の検討【村上市】
- ・リスクが高い区域における土地利用規制(災害危険区域等)【新潟県・村上市】

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域における対策

- ・流域タイムラインの運用開始【国交省・新潟県・村上市・新潟地方气象台】
- ・総合防災訓練の実施【村上市】
- ・水害リスク空白域の解消【新潟県・村上市】
- ・雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成【村上市】
- ・気象情報の充実、予測精度の向上【新潟地方气象台】



【ロードマップ】

区分	対策内容・実施主体	工程(R4～R8)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅・国道7号橋架替【新潟県】	下流区間
	災害復旧(河道拡幅、二線堤整備、輪中堤整備等)【新潟県】	上流区間
	雨水幹線の整備・検討【村上市】	R8 烏川1-3号雨水幹線完了
	田んぼダムの取り組み推進【新潟県・村上市・土地改良区】	
被害対象を減少させるための対策	【国交省・新潟県・村上市】	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【新潟県・村上市】	R6 流域タイムライン運用開始
流域治水関連法の活用を検討	流域治水関連法の活用検討	

荒川水系緊急治水対策プロジェクト

～氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策～鳥川・春木山大沢川の対策【新潟県・村上市・土地改良区】

- 令和4年8月の豪雨では支川の鳥川、春木山大沢川の溢水等による大規模な浸水被害が発生したことから、二線堤整備・輪中堤整備等や雨水幹線の整備・検討を重点化・加速化して実施することで浸水被害の軽減を図る。
- 河川・下水道整備とあわせて田んぼダム取り組みの推進や浸水リスクを踏まえた土地利用規制等にも取り組み、浸水リスク情報の充実等のソフト施策とあわせて『緊急治水対策プロジェクト』として実施する。

緊急治水対策プロジェクト



田んぼダムの取り組み



○実施機関:新潟県、村上市、土地改良区
○実施概要:当該地域はH14年に全国に先駆けて、田んぼダムの取組を始めた“田んぼダム発祥の地”である。
現在、約1,200haの田んぼダムで本取組が実施されている。(土地改良区の域内水田の約1/3で実施されている)

10 村上市の防災の取り組み

● 主な防災事業取組状況について

① 防災訓練の実施

- ▶ 毎年、8月の最終日曜日に市内一斉サイレンによる全域での自治会単位の避難訓練を実施。
- ▶ メイン会場では、イベント型の総合防災訓練を実施
- ▶ 222/274自治会 (81%の自治会が実施)

② 防災シンポジウムの実施

- ▶ 毎年、地震、水害などをテーマにシンポジウムを実施

③ 防災士の養成講座・研修会の実施

- ▶ 全自治会に防災士1名は育成！テーマに、市で毎年27人程度の防災士を公費負担で養成
- ▶ 現在、276人 育成
- ▶ 取得後のフォローアップ研修会も実施



10 村上市の防災の取り組み

- 主な防災事業取組状況について

④防災行政無線（同報系）の強化

⇒今年度、更新工事を実施

屋外子局約250箇所、中継局等の更新の他
戸別の受信機を全世帯に配布

(戸別受信機12000台に加え、

防災タブレット8000台を配布)

昨年8月の豪雨災害時にも、小岩内区長が
集落住民に避難を呼びかける放送を実施した



R6年度 新たに配布予定の防災専用タブレット

配信イメージ



R6年度から、学区や自治会単位での放送を個人のスマホのアプリに配信(音声・文字)可能となる予定

11 災害対応について

▶ 市民への情報発信について

- ▶ 避難情報、垂直避難の呼びかけ、断水・給水情報、支援物資の配布、災害ごみ回収、入浴支援、ボランティアセンター設置など
- ▶ **防災行政無線**、防災メールマガジン、市公式LINE、市HP等を活用し発信

▶ 対策本部会議の状況について

- ▶ 8月3日・4日を中心に開催したが、各課とも対応に追われていた。
- ▶ **副市長を中心に毎朝ミーティング**を実施。状況や課題を共有し対応方針の協議を行った。

▶ 支所との連携について

- ▶ 対面でなく、**常時、WEB会議（Zoom）**で情報共有、相談等を行った。
- ▶ 各地域の状況の把握・共有が十分ではなかった。（荒川・神林地域で記録的な大雨が発生している時に村上地域以北では雨は小降りか止んでいた）

▶ 災害対応の状況について（全体的な）

- ▶ **過去の教訓、平時の訓練・備えにより犠牲者を出さなかった（小岩内の奇跡）**
- ▶ 消石灰の配布→現在は、**逆性石鹼（オスバン）**

• 反省点について

①大量の土砂・流木の撤去

- ▶ 道路・河川・農地・民地（宅地）は、それぞれの管理者や所管課で実施したが、住宅から離れた沢・民地（畑・原野など）の土砂流木撤去を、どの部署が実施するか中々決まらず放置の状態がしばらく続き、危険な状況の解消が遅れた

(国有林・県管理河川・市（民地）の責任分点)



②災害復旧と被災者対応

- ▶ 応急対応や復旧工事のスピード感、復旧工事の工法などについて、被災者の方から指摘や意見を受ける場面が数多くあった。全ての要望に応えながら復旧を進めることは現実的には難しいが、被災者の困難な状況を理解のうえ、**細かくコミュニケーションを図りながら復旧事業を進める**必要性を感じた。

③農業・林道復旧の市町村技術職員派遣依頼について

- ▶ どの市町村もあまり林道に携わる人が少ないせいか農業・林道復旧で派遣依頼したが応募が無かった。再度土木職（市道担当）で応募したところ見つかった。
- ▶ 現在も見附市、五泉市、新潟市、長岡市、妙高市から5名派遣

ご清聴ありがとうございました

令和4年8月の大雨による災害では、
多くの関係者のご協力・ご支援を
賜り感謝申し上げます。



村上市 総務課危機管理室
0254-53-3365(直通)

